

真宗大谷派 存明寺通信

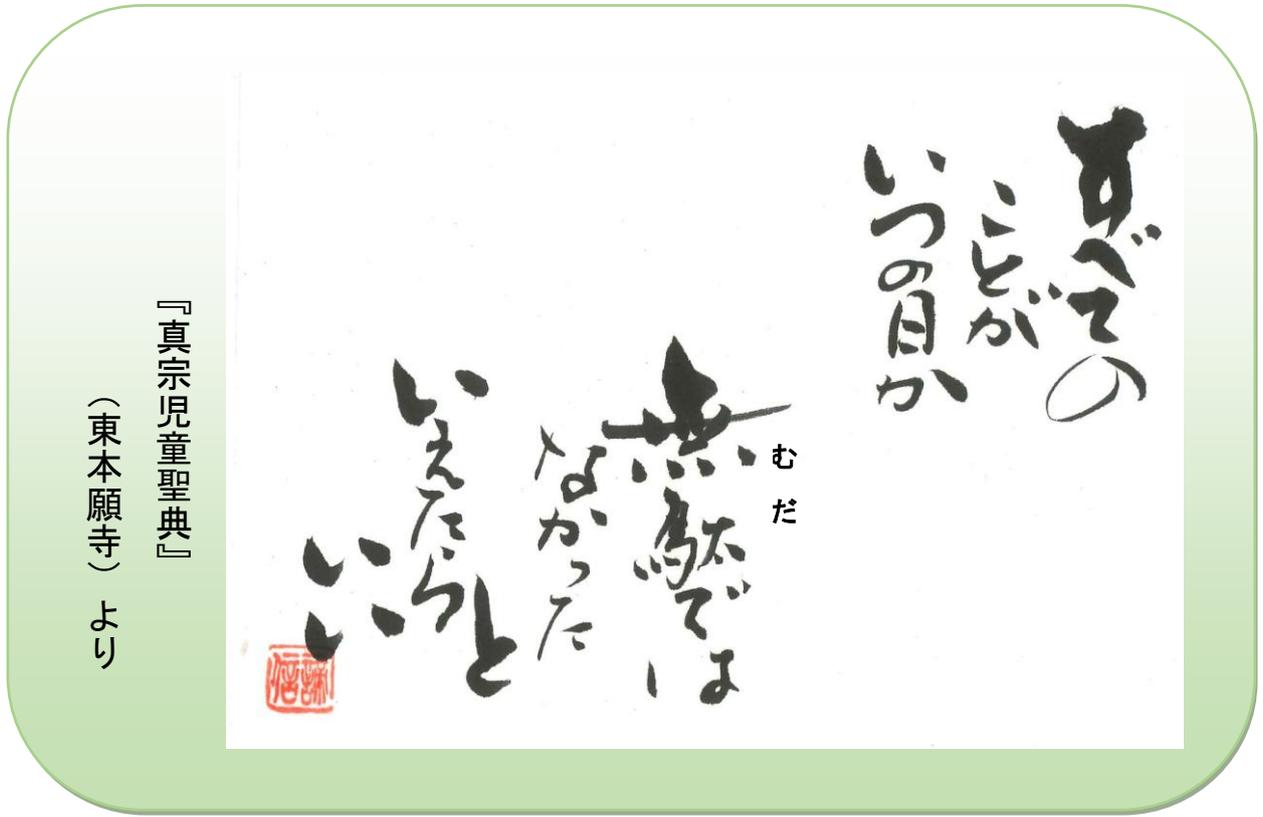
No.230

2026年(仏歴2557年)3月1日

いよいよ今年です！ 2026年(令和8年)11月2日(月)14時～・3日(火)12時～

存明寺慶讃法要 (宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年) を厳修

講師: 一楽 真氏(大谷大学長)・ヒナタカコ氏(シンガーソングライター・僧侶)



『真宗児童聖典』  
(東本願寺)より

人生、思い通りになる時もあるが、そうならない時もある。たとえ自分の思いがかなっても、逆に思いがかなわなくても、自分が経験したことすべてが、「無駄ではなかった」といえたら、どんなにすばらしいことだろう。  
私たちは、誰もが心の奥底でそのような「無駄ではなかった」といえる世界を、願い求めているのではないだろうか。そのような人のことを、仏教では「求道者」と呼ぶ。求道者とは、実は私たち一人ひとりのことである。



<https://zonmyoji.jp>

住職の法話・「アコヤ貝の涙」

## 人と生まれて 教えに出会う

であ

▼きらりと光る真珠のかがやきの裏側には、アコヤ貝の流す涙がある、といひます。真珠は、アコヤ貝に異物が入ることから始まりま

す。天然の場合は砂や泥が入ること、養殖の場合は貝の口をこじ開けて、貝殻の核を入れることです。このことはアコヤ貝にとっては大変な苦痛なのだそうす。その証拠に、異物が入ったアコヤ貝は、穏やかな海の中で育てられるのですが、やがてその半分が死んでしまふのだそうす。

▼異物を抱えたアコヤ貝はそれを吐き出すことができません。そしてアコヤ貝は涙を流すのです。やがてその涙の成分が異物である核を何層にも覆い、自分の体の一部にしようとするのだそうす。2年という時を経て、美しいかがやきを持った真珠が出来上がるとい

うことでした。

▼私はこの話を聞いて、親鸞聖人の教えの世界に通じるものがあることを感じました。アコヤ貝とは私たちのこと。人生には思いもよらない異物と出会うことがあります。それはたとえ、親しい人との別れ、思いがけない病い、人とのすれ違いや争い。そのような時、人は苦しみやつらさを感じるものです。それらはまるで無理やり私にねじこまれた異物であるかのようにす。涙が流れることだつてあります。それが私たちの現実です。

▼そのような私たちに親鸞聖人からこのような言葉が届けられています。

かん丹の一粒は  
鉄を変じて金と成す。  
真理の一言は

悪業を転じて善業と成す。

(親鸞『教行信証』行の巻)

現代風はその言葉を訳してみたいと思ひます。

仏さまの必ず救うという誓願

(〓かん丹)は、人間が抱く苦しみやつらさ(〓鉄)を、光りかがやく存在(〓金)に変えていく。真実の言葉(仏さまの教え)は、都合の悪い出来事(悪業)を、多くの人々の道しるべ(善業)に変えていく。

(親鸞聖人の言葉)

都合の悪い出来事がなくなるのではありませぬ。そうではなくて、都合の悪い出来事が、仏さまの教えに照らされることによつて、多くの人々の道しるべのように光り輝くというのです。

▼真珠は別名「アコヤ貝の涙」というのだそうす。アコヤ貝には、涙を流し続けた長い歴史があったのでした。痛みと共に生きて、流した涙の成分によつて、美しい真珠が出来上がったのではなく、異物がなくなつたのではなく、異物がかがやきを持つ真珠に変化し

ていったのでした。

▼人も、同じです。たとえ涙を流すような現実に出会つたとしても、仏さまの教え(仏さまの願い)に出会うことがあれば、つらい現実には、だれが見ても美しいと感じる真珠のようなかがやきを放つてしよう。

▼あなたの苦しみや痛みは無駄ではない。そのような親鸞聖人の声が聞こえてくる気がします。

(住職・釋諦信)



↑大きな法要の時、お飾りされた存明寺本堂

慶讃法要の日程表

11月2日(月)	11月3日(火)
13時半 受付	12時 受付・お斎
14時 <b>音楽法要</b>	13時 <b>音楽法要</b>
15時 <b>記念講演</b> 一楽真氏	14時 <b>記念講演</b> 一楽真氏
16時 <b>コンサート</b> ヒナタカコ氏	15時 <b>コンサート</b> ヒナタカコ氏

▼今年11月2日と3日、存明寺にて慶讃法要が行われます。慶讃法要は、正式には「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」といいます。親鸞聖人が生まれて850年、浄土真宗が誕生して800年という節目の法要のことです。短く言

今秋 いよいよ慶讃法要が…  
**慶讃法要に是非ご参詣を！**

▼今年11月2日と3日、存明寺にて慶讃法要が行われます。慶讃法要は、正式には「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」といいます。親鸞聖人が生まれて850年、浄土真宗が誕生して800年という節目の法要のことです。短く言えば、「人と生まれた私が、教えに出会うための法要」と受け止めています。

▼ゲストは一楽真さんとヒナタカコさん。日程は両日とも第一部音楽法要、第二部記念講演（一楽氏）、第三部ヒナタカコさんのコンサートです。

▼音楽法要は、ヒナさんの演奏とお経のコラボです。仏教讃歌やヒナさんの献歌など、存明寺独自の音楽法要を目指します。

▼また現在6つの企画が進行しています。音楽法要の他、子ども食堂の出店・親鸞さまへのポエム企画・私の出会った大切な一言コーナー・親鸞さまの寸劇・記念誌の出版です。

▼3月から毎月行われる「樹心の会」にて音楽法要の練習を行います。

す。それぞれが「私の出会った大切な一言」をお話する時間も設定し、本番に臨みます。

▼3月から始まる「樹心の会」に、そして11月に行われる存明寺慶讃法要に、ぜひともご参詣くださいませ。

存明寺一同 合掌



■樹心（じゅしん）の会の予定  
（慶讃法要の練習を兼ねて）

3月14日(土)	14時
4月11日(土)	14時
5月30日(土)	14時
6月13日(土)	14時
9月12日(土)	14時
10月10日(土)	14時
10月24日以降	準備週間
11月2・3日	慶讃法要

ぜひご参加ください。そして、ご一緒に慶讃法要をお勤めしましょう。



↑存明寺の夏まつり 2025年8月



↑報恩講(保々眞量氏) 2025年11月



↑東京教区慶讃法要にて 2025年4月

2026 (令和8) 年 行事予定表

- 3月6日 (金) 13時 おそうじの日
- 3月14日 (土) 14時 樹心の会
- 3月20日 (金) 11時と13時 春のお彼岸法要
- 3月28日 (土) 14時 グリーフケアのつどい
- 4月11日 (土) 14時 樹心の会
- 4月24日 (金) 10時 おみがきのつどい
- 5月3日 (日) 12時 永代経法要
- 講師：近藤龍磨氏(岐阜県)&天白真央氏(愛知県)
- 5月30日 (土) 14時 樹心の会
- 6月13日 (土) 14時 樹心の会
- 6月20日 (土) 14時 グリーフケアのつどい
- 7月4日 (土) 11時 新盆法要
- 7月12日 (日) 11時と13時 おぼん法要
- 9月12日 (土) 14時 樹心の会
- 9月18日 (金) 13時 おそうじの日
- 9月23日 (水) 11時と13時 秋のお彼岸法要
- 9月26日 (土) 14時 グリーフケアのつどい
- 10月10日 (土) 14時 樹心の会
- 10月23日 (金) 10時 おみがきのつどい
- 10月下旬の数日 (未定) 慶讃法要準備期間
- 11月2日 (月) 14時 存明寺慶讃法要
- 3日 (火) 12時 存明寺慶讃法要
- 講師：一楽真氏(大谷大学)・ヒナタカコ氏(歌手)
- 11月14日 (土) 14時 樹心の会
- 12月12日 (土) 14時 樹心の会
- 12月19日 (土) 14時 グリーフケアのつどい
- 1月1日 (元日) 10時 修正会

※真宗聖典輪読会・ほごも食堂・ほごも会・子育てサロンも定期的に活動中です。

■ 永代経法要

5月3日 (日)

音楽法要・ライブイン浄土の真宗  
近藤龍磨氏・天白真央氏  
■ 存明寺慶讃法要

11月2日 (月)・3日 (火)

音楽法要・記念講演・コンサート  
一楽 真氏・ヒナタカコ氏



■ 『生きる』誌へのカンパ御礼

(敬称略)

池亀恵子・海和弘志・海和順子・禿覚英・佐藤祐美・島田レイ子・竹下素子・竹谷タケ子・根本紀子・福寫龍徳・本多清江・本多孝一・本多倫子

2022年3月～2026年2月  
合計127,000円

【あとがき】

▼存明寺の寺報『生きる』春のお彼岸号をお届けします。今年はいよいよ存明寺慶讃法要が執り行われます。この機会をぜひお見逃しなく、どうぞご予定ください。

▼慶讃法要とは、人と生まれた私たちが、人間を照らし続ける教えに出遇うための法要です。

▼人と生まれて様々なものを抱える私たち。その私を照らし続ける世界に出遇うこと。それがこのたびの法要の大きな願いです。

▼この世で体験するすべてのことがいつの日か、「無駄ではなかった」といえたらいい。心の底でそのような世界を求めている旅人、それが私なのではないでしょうか。

いざ慶讃へ。

住職 蒔



東京都世田谷区北烏山4-15-1  
真宗大谷派 存明寺(ぞんみんやうじ)

住職 酒井義一(釋諦信)

〒157-0061 TEL 03-3300-5057

FAX 03-3300-5880

E-mail : sakai@zomyoji.jp